

f. 建築に対する考え方

f-1 外構計画図

鉄棒



※イメージ写真

ブランコ



※イメージ写真

インターロッキングブロック舗装

アスファルト舗装

ネットフェンス(積雪用)



※イメージ写真

ネットフェンス門扉



※イメージ写真

砂場



※イメージ写真



ノンレール両開き門扉



※イメージ写真

アスファルト舗装

インターロッキングブロック舗装

クレイ舗装

防球ネット+ネットフェンス



※イメージ写真

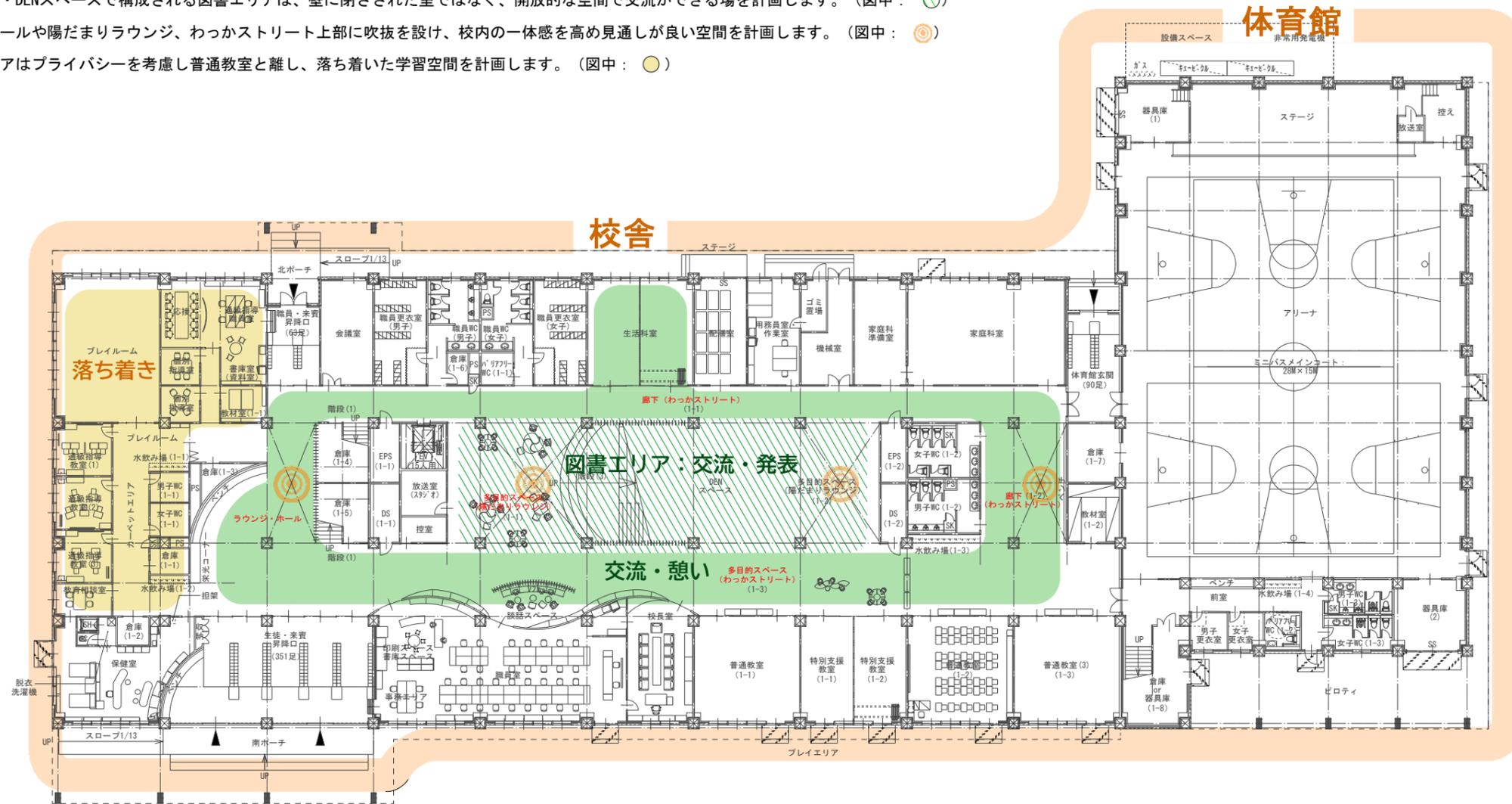
f. 建築に対する考え方

f-2 平面計画

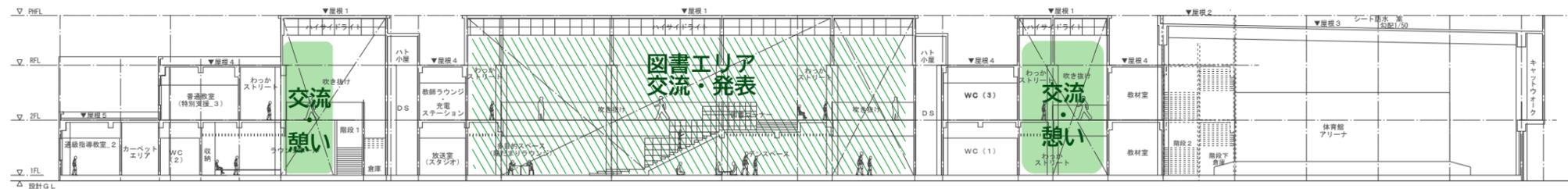
校舎

(1) ゾーニング

- ・校舎と体育館を一体とし、体育館へのアクセスがしやすく、外気に接する壁面積を減らし省エネ効果を高める計画をします。(図中：○)
- ・陽だまりラウンジを中心に回廊状の廊下を配置し四方が見える空間構成で、生徒・教師・町民が分け隔てなく交流できるわかかストリートと生活科を計画します。(図中：●)
- ・中央の大階段・DENスペースで構成される図書エリアは、壁に閉ざされた室ではなく、開放的な空間で交流ができる場を計画します。(図中：◎)
- ・ラウンジ・ホールや陽だまりラウンジ、わかかストリート上部に吹抜を設け、校内の一体感を高め見通しが良い空間を計画します。(図中：◎)
- ・通級指導エリアはプライバシーを考慮し普通教室と離し、落ち着いた学習空間を計画します。(図中：●)



1階平面図 S=1/400



断面図 S=1/400





f. 建築に対する考え方

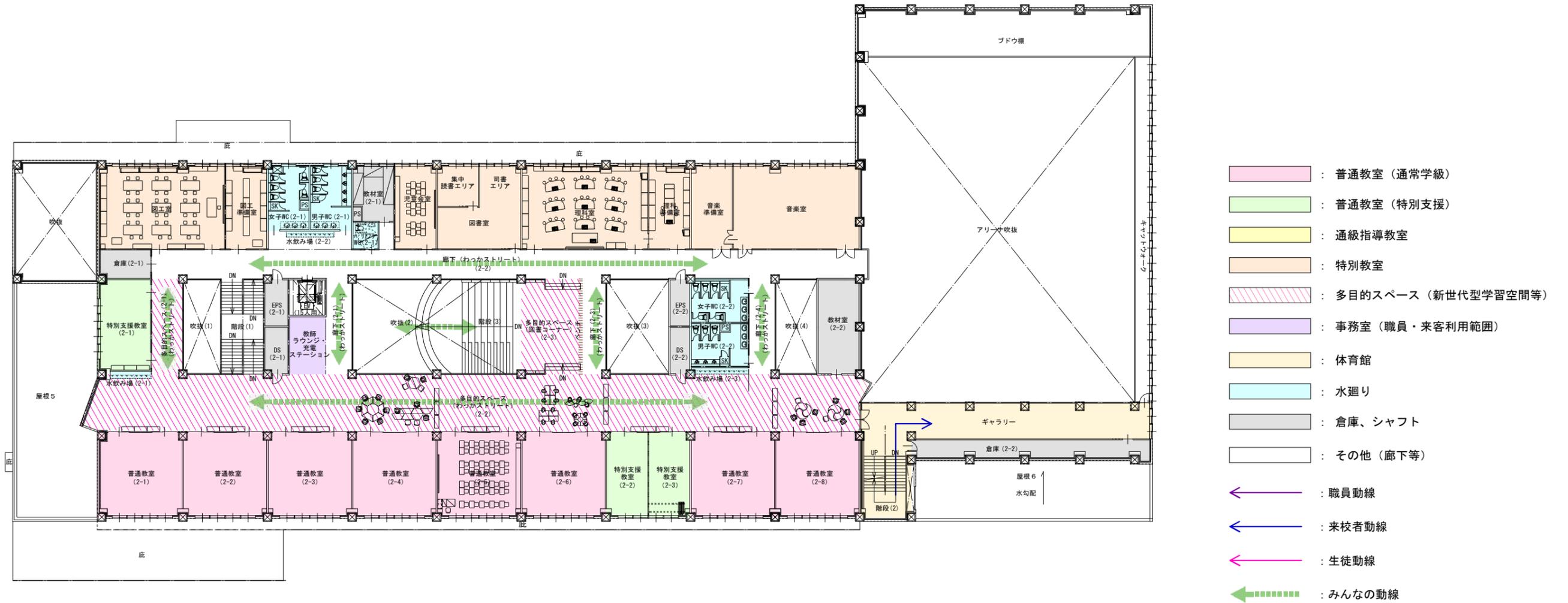
f-2 平面計画

校舎

(3) 諸室計画

- ・普通教室（通常学級）・普通教室（特別支援学級）エリア：2階の校舎南側に中・高学年のエリアを配置します。特別教室は隔てのない人間関係が構築されるように普通教室と同じエリアに計画します。
- ・特別教室エリア：特別科目がお落ち着いて、充実した授業が展開できる北側エリアに配置します。
- ・多目的スペースエリア：普通教室前に配置し次世代型学習空間を計画します。各クラスに配置した可動式コート掛けを仕切りとしてゾーン区分に活用します。また、1階から続く多目的スペース（図書コーナー）は本に触れることのできる空間を計画します。
- ・事務室エリア：教師用ラウンジはタブレットワゴンの充電拠点と、サブ職員室としての機能を持ちます。
- ・水廻りエリア：校舎西側、北側、東側に分散させて水飲み場を配置しゆとりのあるスペースと個数を確保します。
- ・倉庫：倉庫や教材室を分散配置し収納量を確保します。

- ・体育館エリア：観覧や応援をまとめて行える2階ギャラリーを計画します。また、廊下突き当りからもガラス越しにアリーナを参観できるように計画します。



f. 建築に対する考え方

f-2 平面計画

校舎

(3) 諸室計画

- ・吹抜けより、下階に採光を確保するため、PH階に高窓（ハイサイドライト）を計画します。
- ・室外機等設備スペースは、両側のDS近くに配置し配管等の距離、メンテナンスに考慮します。

